

あ み だ じ
阿弥陀寺
だより

2022年7月1日 第53号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ㊚ (096) 297-9161

✉ amidaji@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ [金剛山 阿弥陀寺](#) [検索](#)

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



今年も無事に田植え

阿弥陀寺建立

10周年+2 記念法要

9月10日(土) 正午 勤修

古道

大谷 義文

熊本地震から6年半。益城町は家屋の建築、道路の4車線化工事が続く。最近「以前、ここは何だったかね」とたずねられ、思い出せず答えに詰まることもたびたび。

生前、祖母が暮らした島根県の阿弥陀寺は、バス停まで徒歩30分の坂道。村の方々は、免許の

要らない充電式三輪車で移動する。バス停に停められた三輪車には名前が記されており、誰が出かけているのか一目瞭然。

その頃、祖母は村の最高齢。三輪車に乗ることはかなわなかったもので、私が帰省すると買うものを記した紙を持って車で一緒に山を下りた。

その帰り、祖母は必ず行きとは違う道を指定する。その道は軽自動車

がやっと通れる狭い道。若い頃歩いた思い出の道だという。月に1度、米を

背負い村の若奥さんたちと精米に行く日があつた。この日がとても楽しみで、大きな声で歌い、おしゃべりをしながら歩いた道。

祖母は車窓から「あそこの娘は東京に行った」「この家は昔なかった」等々、回想している。

ある時、小さな破れかけた白黒写真が引き出しの隅から見つかった。そこに写るモンペ姿の若い女性方。みんな笑顔。当時の祖母もそこにいる。

今年、阿弥陀寺は熊本の地で12年の節目を迎える。お寺の前を通る道は、

お城から阿蘇、大分県へと東西を結ぶ古道。戦国時代に小西行長が馬で駆け

けたという。私はその道を毎日踏みしめている。移り行く景色を、隣接し

ている地区の墓地に眠る先人が見てくださっていることだろう。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 **096-360-8488**

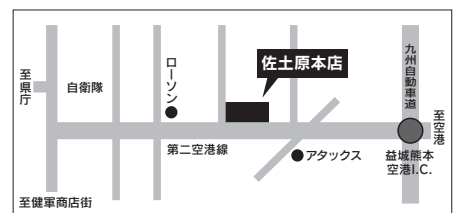
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

短日や親を見送り 子を終へる

阿弥陀寺建立10周年+2記念事業

寒い時期のご法事では女性用トイレが混み合い、たいへんご迷惑をおかけしてまいりました。このたびはシャワー室と洗濯機置き場に使用していた場所を、女性専用トイレ室に改築いたしました。

トイレ（洋式）、洗面所を2ヶ所ずつ増設し、自動照明、自動手洗いを設置しました。衛生面も含めとても快適な空間となりました。この工事により、男性トイレ（洋式）2ヶ所、多目的トイレ（車イス等利用可）1ヶ所を含む合計5ヶ所になりました。

それから、洗濯機を置く場所の増設をして、お参りの方に見えないように配慮しました。何かご不便があれば申し付けてください。



改修後の女性トイレ室



新設した洗濯機置き場



改修後の女性トイレ室

榎（杉本典代）句会 楓組

グレートバスリコーターを奏でる筆者



六年前に母を、三年前には父を見送りました。世話をしている時は、ただただ一日を機嫌良く過ごしてもらおう事だけを考えていましたが、私に余裕が無くなるとイライラして怒ったり、寂しい思いをさせたりもしました。

オフビート
off・beat
総代のつぶやき 47

皆さん こんばんは。総代の森雄です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想したいと思います。つぶやき47を思い出してください。ご返信お待ちしております。

今回は1958年のフランス映画「死刑台のエレベーター」。女優ジャンヌモローが主演しているミステリー映画。音楽はジャズ界の帝王、マイルス・デイヴィス。マイルスの一貫したリリジズムとクール＆ホットで美しいトランペットが十分に聴けます。

マイルスの魅力は何と云っても完成された想像力と美しさ。映画のシーンにぴったりの演奏は聴くものを圧倒します。マイルスのミュージックトランペットが心奥深く残り、何とも言えない余韻を残します。マイルスはこの音楽の制作にあたり、映画のシーンをしながら即興でレコーディングしたとのこと。映画の面白さもさることながら、マイルスの即興演奏を是非堪能していただきたいジャズ音楽です！

とあつたのです。慌ただしい世の中になつたものだと思います。ところが久しぶりに好きだった映画を見た時のことです。「なんて物語がゆっくり進むのだろう」と、つい早送りのボタンを押そうとしていました。知らず知らず、私も待つことができなくなっていたのです。

昔は何事もゆっくりと進みましたが、待つことが苦痛ではなかったような気がします。世の中のスピードに慣れすぎてしまい、息苦しくなっていたことに気づかされた出来事でした。

成人部

漢字／臨書／かな／ペン／くらしの書（実用書道）

生徒部

幼児・小中学生
各学年（毛筆・硬筆）



阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン（家族・親族の安心プラン）
33万円より 税込み
以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金
1日葬プランもあります。19.8万円(税込み)より

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは！（24時間）
益城町宮園547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.jp

生書道教室



指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

「慣れ」とは、恐ろしいことだと教わりました。先日のお参り先で、ロシアとウクライナの戦争の話になりました。ロシア兵が一般家庭に押し入り、子どもが殺され、女性が暴行されてしまうことが聞くに堪えないというのです。私は「なぜそこに注目されたのですか」とたずねました。

『肥後山中膝栗毛』 釋智明（川村 智明）第17回

その方は満州で生まれ育った方でした。日本が第二次世界大戦で降伏すると、今のウクライナと同じことが目の前で起こったといえます。敵兵に抵抗すれば殺される可能性もあるため、なすすべもありません。日頃、お世話になっていた方が襲われていても見ぬふりをしなければなりません。しかし、最も恐

ろしいことは、それらの行為が繰り返されることに慣れていく自分だとおっしゃっていました。「あつてはならないことが、『しかたない』に変わっていったんです」。人としての心が、知らず知らずのうちに蝕まれていたというのです。その感覚に初めて怯えたのは、まだ十才の子どもの頃だとおっしゃっていました。

考えることを支配階級が恐れていたのだ。「酔う」とは恐ろしい面があることを知らされる。

戦場で孤立が進むプーチンはどうだろう。いっそのこと、自国の庶民、各国の首脳を泥酔させない限り落ち着かないのではないか。ただ「自国のための侵略戦争」と強調し推し進める姿は自己陶酔しているように見える。親鸞聖人は、「酔う」

ことを百八の煩惱に酔うこと、自我の虜になることと表現している。人間は酒に酔うばかりでなく、自分の都合で物事を判断するような「思い」に酔っているのである。

今日、そんな人間の愚かさが先の見えない殺し合いを引き起こしている。プロパガンダが行き交う今、我々にとって「酔う」という問題は無視できない。

か」とたずねました。その方は満州で生まれ育った方でした。日本が第二次世界大戦で降伏すると、今のウクライナと同じことが目の前で起こったといえます。敵兵に抵抗すれば殺される可能性もあるため、なすすべもありません。日頃、お世話になっていた方が襲われていても見ぬふりをしなければなりません。しかし、最も恐

『御修行奮闘記』 釋博真（柳原 真人）第38回

ある日のことです。子どもたちが見ているテレビアニメに違和感がありました。キャラクターたちの動きとしゃべりが、いつもより早いのです。たずねると、1.5倍の速さで視聴するのが流行っているというので、それを聞き、ある新聞記事を読み出しました。リモートで講義を受けている大学生が、録画された教授の話を送り、見聞きするらしく、実際に対面で講義を受けると、話が遅くてイライラする

100分de名著 NHK Eテレ

放送・7月(月曜日)午後10時25分〜10時50分

※再放送 火曜日 午前5時30分〜5時55分
翌週 月曜日 午後1時5分〜1時30分

テーマ 『太平記』―あわいを生きる―

講師・安田登(能楽師)

朗読・安田登

玉川奈々福(浪曲師)

※テキストは6月下旬に発売です。前回、同講師放送の、『平家物語』ムック本も同時発売。

法話会

日時・7月3日(日)

午後2時から午後4時終了

法話・大谷義文・栃原真人・川村智明

※寺子屋は11月3日。12月の寺子屋は24日(土)に変更。

お盆参りのお知らせ

7月、8月、お盆参りを予定されている方は、日時、場所が決まりましたらご連絡をお願いいたします。

また、葬儀、法事、納骨、永代供養等のご相談、また遺品、人形等の供養がありましたら対応いたします。

図書紹介



『魔法のほね』

安田登著

発行所 亜紀書房

定価 1600円+税

小学五年生のたつきは、ある日、迷い込んだ町で「見捨てられた店」という不思議な骨とう店を見つける。

猫伏石の声

♪阿弥陀寺、大谷隆(25歳)が6年間、京都での学生生活を卒業して、東京・台東区にありますが西徳寺(山崎哲住職)様に4月からお世話になっています。お近くをお通りの際は、ぜひお声がけください。また本紙面の担当コーナーを「大江戸日記!」と改めました。今後とも指導をよろしくお

そこで手にした「オラクル・ボーン」(魔法のほね)は、三千三百年以上前の古代文字が刻まれた、未来を予知するものだった。祖父の助けを借りながら読み解くうちに、そこには、生贄にされる羌族のことが記されているとわかる。

たつきは友だちふたりとともに、古代中国にタイムスリップ!三人は力を合わせて羌族の人たちを助けようとするが...

※阿弥陀寺で販売しています。

願ひ申し上げます。

♪9月10日(土曜日)正午からの阿弥陀寺建立10周年+2法要ですが、コロナ感染対策として終了後の懇親会は予定していません。

また当日、駐車場が数台に限られています。近隣に駐車できる場所もございませんので、申し訳ございませんが公共交通機関等のご利用をよろしく願ひ申し上げます。

葬儀・祭壇

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848